

## 平成18年度第6回理事会

日 時 平成18年 9月29日(金) 13:30～

場 所 特別会議室

### 議 題

- 1 監事監査の実施について
- 2 平成18年12月・研究職員(選考採用)募集のお知らせ
- 3 平成18年度一般職員・技術専門職員の昇格について(報告)
- 4 環境報告書2006について(報告)
- 5 その他

### 資 料

- 1) 監事監査の実施について
- 2) 平成18年12月・研究職員(選考採用)募集のお知らせ
- 3) 平成18年度一般職員・技術専門職員の昇格について
- 4 環境報告書2006について



1

理事会資料  
平成18年9月29日  
(監査室)

平成18年9月1日

独立行政法人 森林総合研究所  
理事長 大熊 幹章 殿

独立行政法人 森林総合研究所

監事 井上 敏雄

監事 真柴 孝司

#### 監事監査の実施について

監事監査規程第4条第1項及び監事監査実施要領第5に基づき、別紙のとおり実施するのでお知らせする。

平成18年9月1日

重点課題責任者

佐藤研究コーディネータ 殿

山本研究コーディネータ 殿

監事 真柴孝司

監事 井上敬雄

平成18年度実地監査について

平成18年4月21日付にて理事長に提出した平成18年度の監査計画に基づいて実地監査を行うため、今期中期計画における重点領域ア「森林・林業・木材産業における課題の解決と新たな展開に向けた開発研究」に位置づけられている重点課題の中から2課題を選定し、それら課題を構成している研究課題群等の責任者、担当者に参集いただき、中期計画における担当課題の位置づけ、研究の進捗状況、期待される成果等の説明及びそれらに関連した意見交換を実施したいのでご協力をお願いしたい。具体的な実施内容は下記の通りであり、課題群責任者等に周知願いたい。

記

実施時期：平成18年10月～11月

実施場所：本所及び北海道支所

対象課題：①重点課題2課題（アアa及びアアb）

②重点課題を構成するすべての研究課題群

③研究課題群を構成するプロジェクト課題または研究項目から選定する1課題または1項目（選定された対象課題名は添付資料1を参照）

④ただし、研究課題群アアa4についてはすべてのプロジェクト課題及び研究項目を対象とする。

参集範囲：①研究課題群の責任者、選定されたプロジェクト課題及び研究項目の責任者及び課題担当者（担当者の参集範囲は添付資料2を参照）

②ただし、研究課題群アアa4についてはすべてのプロジェクト課題及び研究項目の責任者のみ。

実施時間：①選定されたプロジェクト課題及び研究項目ごとに実施し、それぞれ約2時間程度（原則として金曜日の13時15分から15時15分）

②ただし、研究課題群アアa4についてはすべてのプロジェクト課題及び研究項目を一括して約2時間の実施とする。

なお、支所における実地監査の実施時間等については別途調整

(添付資料 1)

対象課題名：

- 1) 重点課題 アア a 「森林への温暖化影響予測および二酸化炭素吸収源の評価・活用技術の開発」

研究課題群 アア a1 「森林に関わる温室効果ガスおよび炭素動態を高精度に計測する手法の開発」

**プロジェクト課題アア a115**

「森林吸収量把握システムの実用化に関する研究」

研究課題群 アア a2 「森林木材製品等に含まれるすべての炭素を対象とした炭素循環モデルの開発」

**プロジェクト課題 アア a211**

「地球温暖化が農林水産業に及ぼす影響の評価と高度対策技術の開発」

研究課題群 アア a3 「温暖化が森林生態系に及ぼす影響を予測・評価する技術の開発」

**プロジェクト課題 アア a311**

「環境変動と森林施業に伴う針葉樹人工林の CO2 吸収量の変動評価に関する研究」

研究課題群 アア a4 「荒廃地又は未立木地における森林の評価・活用技術の開発」

**研究項目 アア a401** 「熱帯林における多面的機能の評価」

**プロジェクト課題 a411** 「東南アジア地域の森林水位に関する空間プロセスの解明」

**プロジェクト課題 a412** 「CDM 植林が生物多様性に与える影響評価と予測技術の開発」

**プロジェクト課題 a413** 「陸域生態系の活用・保全による温室効果ガスシンク・ソース制御技術の開発」

**プロジェクト課題 a414** 「南洋材の樹種識別及び産地特定の技術開発」

**プロジェクト課題 a415** 「荒漠地における持続可能型バイオマスエネルギー資源創出技術の研究開発」

- 2) 重点課題 アア b 「木質バイオマスの変換・利用技術及び地域利用システムの開発」

研究課題群 アア b1 「間伐材、林地残材、工場算は偉材、建築解体材等の効率的なエコマテリアル利用及びエネルギー変換・利用技術の開発」

**プロジェクト課題 アア b115**

「木質バイオマスのエネルギー変換・利用技術の開発」

研究課題群 アア b2 「地域に散財する未利用木質バイオマス資源の効率的な収集運搬技術の開発」

**プロジェクト課題 アア b211**

「木質バイオマス地域利用システムの開発」  
研究課題群 アア b3 「木質バイオマスの変換、木材製品利用による二酸化炭素排出削減効果等のライフサイクルアセスメント」

研究項目 **アア b301**

「木材利用による二酸化炭素排出削減効果の定量的評価」

## 添付資料 2

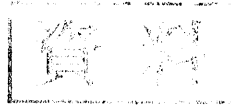
課題担当者の参集範囲：

本所

アア a115：約 10 名程度（支所を除く）  
アア a211：約 10 名程度（支所を除く）  
アア a311：担当者全員（支所を除く）  
アア a401：研究項目の責任者  
アア a411：プロジェクト課題の責任者  
アア a412：〃  
アア a413：〃  
アア a414：〃  
アア a415：〃  
アア b115：担当者全員  
アア b211：担当者全員（支所を除く）  
アア b301：担当者全員

北海道支所

アア a115：支所担当者全員  
アア a211：支所担当者全員



2

理 事 会 資 料  
平成18年9月29日  
企 画 調 整 部 長

## 平成18年12月・研究職員（選考採用）募集のお知らせ

独立行政法人森林総合研究所では、標記研究職員の募集を行っています。

選考採用は国家公務員Ⅰ種試験では適任者が得られない特別の知識、能力または技術を必要とする業務について、優秀な人材を採用するために行っているものであり、今回の採用予定研究員、応募条件、選考採用試験要領は下記のとおりです。

### 記

- 1 採用予定の試験研究機関名、各配属研究室・待遇及び研究領域キーワード  
別表のとおり
- 2 任 期：無し
- 3 応募条件
  - (1) 大学院博士課程修了者又はこれと同等以上の学識を有する者。
  - (2) 試験研究職員として特別な知識、能力又は技術を有する者。
  - (3) 年齢は別表のとおり。
- 4 公務員宿舍：独身、単身、世帯用宿舍あり。
- 5 提出書類
  - (1) 履歴書（市販のJIS様式又はこれに準拠するもの。高等学校卒業以降を記入）  
＊注）メールアドレスがあれば必ず記載してください。また、写真は必ず添付して下さい。
  - (2) 博士の学位授与証明書又は修了見込証明書
  - (3) 研究業績目録（森林総合研究所HPに掲載の書式又は、これに準拠して、主たる研究業績の背景、方法、成果及び評価の解説を付記すること）  
森林総合研究所採用情報HPアドレス：<http://www.ffpri.affrc.go.jp/l8saiyo.htm>
  - (4) 主要論文3報のコピー各1部（A4版）
  - (5) 研究を行うに当たっての抱負（A4版1枚程度）1部
  - (6) 応募者についての意見を求め得る人2名の氏名、所属と連絡先電話番号
- 6 応募書類の提出先  
封筒に朱書きで「選考採用応募書類在中」と「応募No」（選考採用予定一覧を参照）を必ず明記のうえ、下記まで送付。なお、提出された書類は返送致しませんので承知下さい。  
  
送付先 〒305-8687 茨城県つくば市松の里1  
独立行政法人 森林総合研究所 総務部 総務課 人事係
- 7 応募締切  
平成18年10月6日（金） （必着・締切日厳守）
- 8 選考採用試験
  - (1) 書類審査 平成18年10月中旬
  - (2) 面接試験 平成18年11月上旬（予定）
- 9 採用時期  
平成18年12月1日
- 10 問い合わせ先  
〒305-8687 茨城県つくば市松の里1 独立行政法人 森林総合研究所 総務部 総務課  
宮本（人事係長）・中田（総務課課長補佐） Tel：029-873-3211 内線269・262  
E-Mail：jinji@ffpri.affrc.go.jp

選考採用予定一覧表（平成18年12月期）

応募 No	試験研究機関名	所属研究室名	待 遇	研究領域キーワード	応募年齢
1	森林総合研究所	水土保全研究領域 水保全研究室	研究職 (研究職員俸給表2級または3級)	SPACモデル 土壌水分 林分構造	平成18年12月1日現在 40歳以下の者
		「森林の水循環過程の解明と流域蒸発散予測モデルの開発」に深い知識を有する研究者（1名）			
2	森林総合研究所	気象環境研究領域 気象研究室	研究職 (研究職員俸給表2級)	二酸化炭素輸送 群落スケールモデリング スケールアップ	平成18年12月1日現在 34歳以下の者
		「森林群落微気象モデルによる森林の二酸化炭素吸収量評価技術の高度化」に深い知識を有する研究者（1名）			
3	森林総合研究所	生物工学研究領域 ストレス応答研究室	研究職 (研究職員俸給表2級)	樹木生理 樹木分子生物学 遺伝子組換え	平成18年12月1日現在 34歳以下の者
		「樹木の環境ストレス応答機構・遺伝子機能の解明」に深い知識を有する研究者（1名）			
4	森林総合研究所	林業工学研究領域 収穫システム研究室	研究職 (研究職員俸給表2級)	収集・運搬技術 森林情報処理技術	平成18年12月1日現在 34歳以下の者
		「木質バイオマス資源の供給システムの開発」に深い知識を有する研究者（1名）			
5	森林総合研究所	バイオマス化学研究領域 樹木抽出成分研究室	研究職 (研究職員俸給表2級)	木質バイオマス変換 マテリアル利用 バイオリクター	平成18年12月1日現在 34歳以下の者
		「微生物代謝機能を利用したリグニンからのバイオプラスチック原料の生産」に深い知識を有する研究者（1名）			
6	森林総合研究所	木材改質研究領域 木材保存研究室	研究職 (研究職員俸給表2級)	耐火性向上 燃焼性状 熱応答予測	平成18年12月1日現在 34歳以下の者
		「火災時における木質構造物の熱・力学的解析」に深い知識を有する研究者（1名）			
7	森林総合研究所	構造利用研究領域 木質構造居住環境研究室	研究職 (研究職員俸給表2級)	木質床音響・振動 感性情報処理法 画像処理法	平成18年12月1日現在 34歳以下の者
		「木質空間における居住快適性の評価及び木質構造要素の開発」に深い知識を有する研究者（1名）			
8	森林総合研究所	四国支所 森林生態系変動研究グループ	研究職 (研究職員俸給表2級)	森林植生 成長・更新動態 機能評価	平成18年12月1日現在 34歳以下の者
		「人工林の持つ多面的機能を発揮させる育林技術の研究開発」に深い知識を有する研究者（1名）			

理 事 会 資 料  
平成18年9月29日  
職 員 課

## 平成18年度一般職員・技術専門職員の昇格について

### 1. 一般職員

一般職員の昇格は、平成18年7月28日に格付審査会を開催して、在職、在級、経験年数等の昇格基準に基づくほか、適性及び異動歴等を総合判断したうえで、理事長に答申した。理事長の決裁後、8月31日に辞令の交付、9月俸給支給日に差額の支給を行った。

### 2. 技術専門職員

技術専門職員の昇格は、平成18年8月22日に格付審査会を開催して、平成17年12月26日に決定された「技術専門職員の将来方向」及び平成18年6月29日に確認された「技術専門職員の将来方向に関する実行計画」に基づく昇格基準のほか、業務の高度化等について総合判断したうえで、理事長に答申した。理事長の決裁後、8月31日に辞令の交付、9月俸給支給日に差額の支給を行った。

### 3. 昇格結果

俸給表区分	職 名	昇 格 級	昇格者数	備 考
一 般 職 員	課 長	7	1	
	支 所 課 長	6	4	
	課 長 補 佐	5	2	
	専門職(名称)	5	1	
	係 長	4	3	
	専 門 職	4	1	
	計		12	
技術専門職員	技(乙)	5	2	
		4	0	
		3	1	
		2	0	
	計		3	

\* 発令時期は、平成18年4月1日付けである。



# 環境報告書

資料 4

## 2006

